

- 日時 平成 29 年 1 月 24 日（火）午後 3 時～午後 5 時
- 場所 市役所議会会議室
- 出席者 （敬称略、順不同）
（会長）渡邊忠貴、（副会長）森谷紀子、山口歆三、森川いつみ、磯野昌子
七海耕一、石井昭子、若狭秀巳、河路容子
（オブザーバー）図書館 安田主任
- 欠席者 秋山寿子、川嶋名津子、山道宗晃
- 事務局 阿万野文化スポーツ課長 黒羽係長、鬼原主事
- 会議の公開・非公開 公開
- 傍聴人の有無 0 人
- 記録 鬼原 平成 29 年 1 月 26 日作成

- 議題 （1）『（仮称）逗子アーカイブス』の推進について
（2）その他 逗子アートフェスティバル 2016 について

■配付資料

- ・次第
- ・名簿
- ・資料 1 平成 28 年度「（仮称）逗子アーカイブス」進捗状況（差替え）
- ・資料 2 「（仮称）逗子アーカイブス」の方向性についての意見（報告）（案）
- ・参考資料 逗子アートフェスティバル 2016 無料ガイド
市制 60 周年記念誌

■議事

1 開 会

- ・・・配付資料の確認・・・
- ・・・出欠の確認・・・
- ・・・オブザーバー 安田主任 紹介・・・

2 議 事

- (1) 『（仮称）逗子アーカイブス』の推進について

<会長>

本日の会議に先立って 1 月 13 日に事前打合せをした際、資料 1 の後半にあるように「（仮称）シティプロモーション推進事業」の説明を受け、本会議で検討を進めてきた「（仮

称) 逗子アーカイブス」に非常に密接に関係してくるということが分かった。そのことについての説明をお願いしたい。

また、その他では「逗子アートフェスティバル 2016」について報告させていただく。先週末湘南国際村で、近隣の芸術祭の集まり「SAMAL」でも、今年度と来年度のことについてお話しした。皆様にもご紹介する。

議題1 「『(仮称) 逗子アーカイブス』の推進について」について事務局より説明をお願いする。

<事務局>

(資料1、資料2説明)

本会議での、29年度のアドバイザー報酬については、企画課所管の「(仮称)シティプロモーション推進事業」を新たに事業化するという方向のなかで、予算化が出来なかった。「(仮称)シティプロモーション推進事業」の「(仮称)逗子フォト運営事業」については、まず市保有の写真について整理しようということで、それ以外の具体的な内容は現時点ではほとんど決まっていない。他市町での事例も少なく逗子独自の仕組みを検討していく必要がある。

本会議としては、これまで検討してきたことを、企画部の新しい事業のなかでどこまで反映できるか、市長に意見として提言した方がよいのではないかと考え、会長、副会長とご相談したうえで、(案)を資料2として提出させていただいた次第である。

<会長>

なんとなく方向感が見えたような感じがするのであるが、シティプロモーションとリンクして行くのがいいのか、それとは別に独立していくのがいいのか等、ご意見をいただきたい。

<山口メンバー>

資料1の「公共施設の統廃合のなかで既存施設の活用」などとあったが、具体的にはどうということか。学校を廃校にしたならそこを使うということか。

<事務局>

公共施設の管理については、企画部で今後どのように運用するか検討しているが、学校を廃校するという事ではない。将来的に、池子の森自然公園内に文化財収蔵庫等を新たに建設する計画があり、それができれば社会教育課が他の公共施設に保有しているものをそこに移すこともあるが、いずれも具体的にはなっていない。

昨年8月の市長と会長との面談を経たことで、「(仮称)逗子フォト運営事業」の実施につながったものではないかと思われる。市制60周年誌を作成した際、各所管に掲載したい写真がバラバラに保管されていて収集に苦労したということから、まずは市保有の写真の整理をし、今後の活用の際に上手く進められるのではないかという考えから、写真のデータ化をすることになった。

<若狭メンバー>

「(仮称)逗子フォト運営事業」と「(仮称)アーカイブス」では、目的の次元が違うと思う。アーカイブスを進めるなかで、さまざまな活用をされる中で、シティプロモーション

ョンにも活かしていける、となれば良いが、シティプロモーションだけで進めていくと、とても中身の薄いものになってしまうのではないかと。アーカイブスの表面の部分がシティプロモーションに入るレベルの話であって、アーカイブス全体の広さや深さのレベルはシティプロモーションには当てはまらないと思う。

<会長>

シティプロモーションの事業にどれだけアーカイブスを反映させるかが問題である。写真データとはどれくらい有るのか。市制 60 周年誌の写真はデジタル化されているのか。

<事務局>

市制 60 周年誌の写真については、各所管課で保有されている。デジタル化もされていると思うが、統合されていない。保存はしているが、市民が活用するような保存の仕方はされておらず、あくまで誌を作成するために集められたものである。

<会長>

先ほどお話した先週末の湘南国際村での会議のなかでウェブアーカイブスについての話があり、アーカイブスを作る上で重要なのは「メタデータ」とのことだった。簡単にいうと目録のようなもので、そういうものをつけたうえでのデジタル化が重要ということだった。アーカイブスのコアということになる。

<事務局>

現在市が保有している写真は、その目録化の仕組みがない。その部分について、企画課の新しい事業においてまずはシステムを作るとのこと。

<安田主任>

市制 60 周年誌の写真は、比較的新しい写真であるが、図書館的な発想では、アーカイブスには、市制 60 周年誌にあるような現在の写真ではなく、明治～戦後まもなくといったような写真が相応しいかと思う。シティプロモーションは、これから住みたいという方向なので、今新しい逗子の生き生きとした部分を出すもので、過去の逗子を出す、少し方向性が違うのかなと思う。もっとも、シティプロモーションのなかで、アーカイブスを文化的な魅力として過去の逗子を取り上げていくという考え方もある。そもそも資料がどれくらい、歴史的な古い資料がどの程度あるのか、市民の皆さんの手元にあるのか分からないのが現状である。

<会長>

前に「逗子の個人所蔵の古い文書はほぼ集め切っている」と言う話は無かったか。

<事務局>

第 2 回会議にオブザーバーとして出席した社会教育課副主幹から、近世以前の文書についてはほぼ集め切ったという話があった。これ以上新しく文書は出てこないということと、近代以後は集めていないということだった。

<石井メンバー>

私はしばらくカナダに滞在していたが、現地で訪れた図書館の 1 階のロビーの壁面に、建国から現代にいたるまでの年表が展示されていて、それぞれの時代ごとに風景や生活の様子が分かる写真があり、乗り物などの物品も展示されていた。私たちがアーカイブ

スについて検討していた際、収集・保管を中心に考えていたが、展示の部分、逗子を訪れた人が、逗子の歴史はこういうものだということが分かるようなものになればいいと思った。

アーカイブスはシティプロモーションとは目的が違うが、市の予算に限りがあるなかで、同じような仕組みのことであれば、多少趣旨が違っていても統合するという考え方があるのだと思う。

クラウドファンディングについて、カナダではとても緩く広く取り組まれている。一例として、テリー・フォックス・ランという癌撲滅のマラソンは、カナダ全土でとても活発に行われている。

小さな事でも賛同の気持ちがあれば、行動をもって寄附をしたり、学校での活動に参加したり、その一方で、自分が欲する事については寄附を募るという考え方が定着していた。」これまでの本会議の検討を振り返ると、具体的なことを決めていかないと机上の空論になってしまうのではと危惧している。

<河路メンバー>

資料2について、対象は決定しているのか。アーカイブスで何時からのものを収集するかなどをこの会議で決めてしまってもよいのかも分からないなかで、「(仮称)逗子フォト事業」と一緒にしてしまうというのは少し違うと思うが。

<事務局>

一緒というより、まず企画課で「(仮称)逗子フォト事業」を立ち上げるので、そのなかでどこまでアーカイブスがリンクできるのか、全くできないので別に立ち上げる必要があるのかを考える必要がある。ただ、市の中で同じようなシステムを2つ立ち上げることは難しいので、「(仮称)逗子フォト運営事業」を立ち上げる際に出来る限り本会議から意見を言って、アーカイブスの考え方を反映させたものにしたいと考えている。

<会長>

対象は具体的に決まっていなくて、集めたものを保管する場所や公開の方法など本会議で検討していくことになっていたが、そうした具体的な話を29年度からアドバイザーを迎えて話しをしていく予定だったが、たまたま「(仮称)シティプロモーション推進事業」のなかで写真を整理データ化という事業が始まることになり、そちらに予算がついたということだが、いつ頃そこに相乗りしていくのか、本会議として考えていかなければならない。

<若狭メンバー>

アーカイブスの活用を前提に考えなければならないか、そもそも逗子のどこに魅力があるのか、何がアピールできるのか、市としてきちんと認識も議論されていないと思う。焦点が絞られていないなかで、アーカイブスをどう活用、発展させていくか、その部分が見えていないと思う。では逗子にどんな特徴があるかということになるが、例えば歴史的に見た時に、鎌倉と違うところはどこなのかなど、どういう部分に魅力があるのか。明治以降の別荘文化なのか、その背景はどこか。そういう議論がされていないなかで、表面的な動きばかりになっていると思う。逗子の市民のなかでもっと文化的なものに触

れたいと思う人がいたときに、ある程度そういう焦点が絞られていないといけないと思う。

<会長>

そういう「逗子の魅力って何か」ということは市で調べていないのか。市でアンケートをしているようだが。

<山口メンバー>

市からアンケートが来たので回答をしたことがある。

<事務局>

企画課で、シティプロモーションを行うにあたり、逗子の魅力はどういうところかなどについて、全市民から無作為抽出した方にアンケートを実施した。それを基に、まち・ひと・しごとの創生総合戦略が出来ており、その中の一環でシティプロモーションが出てきている。

<山口メンバー>

市の予算という立場からは、同じようなものを二つ作ることが難しいのは理解できる。アーカイブスは対象も決まっていないが、シティプロモーションの方は整理する対象が既に決まっていて、今ある写真を整理するだけであるが、そうではなく、アーカイブス的な視点から収集、整理、保管のシステムを作るようにしていくように、常に訴えていく、関与していくことが重要ではないか。会長に動いていただいて、市長に訴える必要があるのではないか。

<森谷副会長>

前回会議では、まずやれることをやろうという話になったと思う。シティプロモーションの位置づけをどう考えるか。アーカイブスの取っ掛かりになるかもしれないし、取り込まれてしまうことになるかもしれない。ただ市長も、ある程度考えてくれていることが分かった。そこで本会議での「意見書」が大切になって来ると思う。本会議がこういう意見を持ち、このように関わっていきたいという、先導できるようなポジションに食い込めるかどうか。市として取り組もうとしていることに、どう関わっていくことが大切ではないか。

<会長>

資料2の「対象」のところがそれに当たる。これらをシティプロモーションでも対象にしてよ、と声高に言って、シティプロモーションの担当課に刷り込んでおかないといけない。

<森谷副会長>

今まで本会議で考えて来たことを、シティプロモーションでの単なる写真整理に終わってしまったはいけない。各家庭で保管されている資料の遺失も心配だ。

<会長>

各家庭での資料の、所有者が死去して遺族がその価値が分からず破棄してしまうことが喫緊の問題だ。時間が経過するほど失われてしまう。

<会長>

市の広報などで、市民が所有する古文書を集めたりすることが出来ないか。会議として呼びかけをしてはどうか。

<事務局>

そのようなことを、市として呼びかけをきちんとしてほしいと本会議として意見するというのが資料2にあたる。1「(仮称) 逗子アーカイブス」についての(ウ)②、画それに当たる。市民が保有する資料などが遺失するまえに、ルールを決めて市として情報を集めることにすぐ着手してほしい、と意見する、という内容になる。

<若狭メンバー>

資料2の(イ)②にかかり、寄贈、寄託を受けないとしているが、歴史的に価値がある資料が有った場合、どうするのか。

<安田主任>

金沢文庫の例を話すと、県立図書館の開設時、県史の編纂をする必要があつて、県立図書館の横に文化資料館という編纂のための場所が出来た。その後県では、公文書館を開設して、公文書のなかでの歴史的な文書を蓄積するものができるようになった。その他に、博物館が歴史的な「物品」を保管し、埋蔵文化センターでは「遺物」を保管する、というように、ある程度の費用をかけて分担するかたちになった。

寒川町の場合は、図書館で公文書館的な機能も果たす一体的なかたちをとっている。

施設の分類から言うと、図書館と博物館は教育委員会の社会教育部門にあたり、公文書館は首長部局の総務部門にあたる。

M(博物館)1(図書館)a(文書館)と言う考え方がある。博物館には学芸員がおり、図書館には司書、文書館にはアーキビストがいるわけだが、そこまでを整備するのは逗子のレベルでは難しい。

逗子の図書館では「郷土資料」という捉え方をしているが、残念ながらあまり収集量はない。また現代の資料も集まりにくい。本来、図書館はそういうものの収集を扱っていかねばならない。写真の整理は想像よりも時間がかかる。個人情報のもともあり、それを整理し公開まで持っていくのは大変な労力である。それらを全て市役所に任せるとい時代ではないと思う。協働という仕組みが必要になる。費用、場所の確保も簡単なようで厳しい。寄付に頼ると言っても海外の文化とは異なる。

鎌倉では図書館でアーカイブスを扱っているが、現状は予算的にもとても厳しいときいている。そのなかで(専門員の)平田氏などが地道にやっているのは、人脈を活かして市民のボランティアを集めて収集整理をしているという状況である。逗子でどのような仕組みができていくのか。

<会長>

行政のなかでやっても始まらない、ということか。

<安田主任>

シティプロモーションのなかで逗子フォトのようなことをやろうというのは、政策的にも他市で見られることである。まちの魅力をアピールして住民を増やそうというなかで、シティプロモーションの一環でアーカイブスの一部も入り込んでいけると思う。

<会長>

実行委員会形式で行政と協力して行っていく必要があるのではないかと。

<若狭メンバー>

市内にはそういうボランティアが好きな方が多いと思う。

<安田主任>

鎌倉の場合は、平田氏の前から図書館で資料整理をしてきた経緯がある。小田原も図書館が資料を集めていたが、今はそうではない。逗子の場合は、図書館で行うにはまずスペース的に狭いことで難しい。

<事務局>

資料の重要性については後から考えることとして、まず2次資料（デジタル）化をして、保存すべきと考えるものが出てきたら重要度について考えてはどうか。まず遺失を止めるべきではないかと。

<若狭メンバー>

最終的にはそういうふうにするのがいいと思うが、集めただけで終わってしまうことが危惧される。きちんと流れを考えておくべきである。

<石井メンバー>

文化の会では、故黒田先生所有の資料をデジタル化していると聞いているがどうなのか。

<会長>

昨年手帳の会の久保氏とお会いした時、資料が膨大にあることとその一部をデジタル化しているということを知った。

ずっと検討してきたことなので、とにかくやってみたい、進んでみたいというのが素直な感想だ。

<若狭メンバー>

逗子市民全体に情報を伝えるには、自治会等の回覧などでできないか。広報ずしであると記載枠が小さいので、回覧の方が効果的だと思う。

<事務局>

住民自治協議会で回覧を依頼することもできる。

<森谷副会長>

広報板でもよいと思う。

<事務局>

広報板は掲出期間が10日間に限られる。ただ、収集の情報を出しても、集まってきた後どうするのかなどのルールをあらかじめ決めておかないといけない。アーカイブスとしてどういう整理をするのが望ましいのか決めておく必要がある。

<若狭メンバー>

池子の森の新しい保管庫は展示もするのか。

<事務局>

展示が中心になると思われるが、詳細は未定である。

<若狭メンバー>

集めて活用できるような施設にしてほしい。施設の中身をどうするか一緒に考えていかないと、単なる保管だけだとゴミの山で終わってしまう。

<会長>

本会議としての意見を出すのに、何時のタイミングで市長に話に行くのがいいか。

<事務局>

「(仮称)逗子フォト事業」の予算は3月議会で決定するので、その前後が良いのではないか。

<森谷副会長>

シティプロモーションが一過性のものに終わらないように、何らかのアクションを本会議としておく必要がある。議会の前に市長に会うのが良い。

<山口メンバー>

「(仮称)シティプロモーション推進事業」での「(仮称)逗子フォト運営事業」は、既に集まっている写真の整理でスケールが小さく、やることが明確になっているから予算化されたわけで、逗子に住みたいという人を呼び寄せるための方法である。では「(仮称)逗子アーカイブス」は何をやるのか、市民にはいまいちインパクトが伝わらない。私のイメージは、例えばブラタモリに提供できるような資料を見せられるようなものになると思っていた。どういうものになるのかが見えないと、保管場所や整理等と言っても、市民参加は難しい。まずは対象を絞ってでも始めてみたらどうか。また、集められたものがどう使われるか決めた方が良い。もし今、市としてアーカイブ的にまとめているプロジェクトがあれば、それにのった方がよい。

<事務局>

市の中ではアーカイブスについて動いているのは本会議でだけである。計画においては、28年度までは、アーカイブスの方向性に向けた検討をすることになっている。この段階で、市長に会長名での文書を出し提案をしていただくのが良いのではないか。

<会長>

市長に対して、本会議として「遺失する前に資料を集めてほしい」ということを積極的に意見していく。

<石井メンバー>

資料2について、2(ア)の事業は「(仮称)逗子フォト運営事業」のことか。これは「(仮称)シティプロモーション推進事業」とした方が良い。

(2) その他 逗子アートフェスティバル2016について

<会長>

昨秋に実施した逗子アートフェスティバル2016について報告する。

(パワーポイント資料による説明)

3 閉 会

<事務局>

次回会議については、来年度6月頃の開催を予定している。

以上で平成28年度第三回逗子市文化振興基本計画策定・推進会議を終了する。

以上